

林野庁長官賞

十勝の家は十勝で建てる

地元関係業者の取り組みによる巨大事業協同組合

道東プレカット事業協同組合

代表理事 津田 道博

□事業体の構成

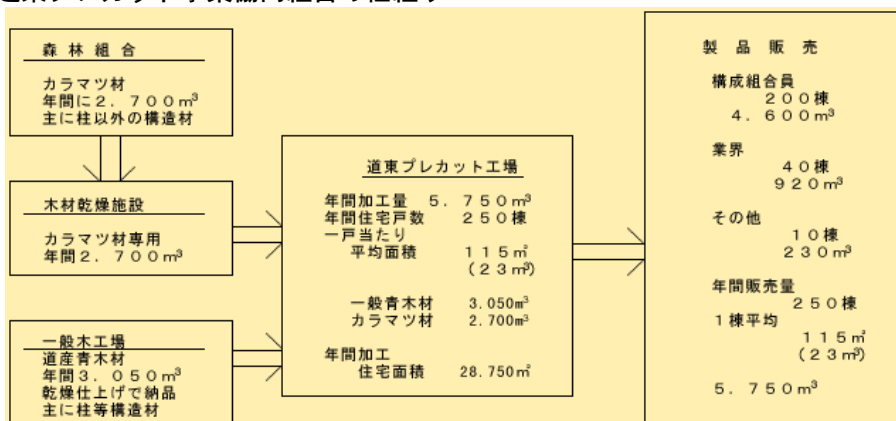
森林組合3、製材業4、建材業3、建設業21、計31社

〒080-11 北海道河東郡士幌町字中士幌幹線102-1

TEL01564-7-4700



□道東プレカット事業協同組合の仕組み



1 地域の概要

十勝地方は道の東部に位置し、道内屈指の大平野である。総面積は108万ha、その65%に相当する70万haが森林であり、全道の13%を占めている国有林・道有林が67%占め、エゾ・トド・カラマツを中心とした針葉樹生産が大きな産業となっている。また、人工林は全体の27%を占め、特に一般民有林では47%と高い比率をもつ。

当地域の製材工場は69あり、原木消費量が61万5,000m³、製材生産量が33万7,000m³と全道のそれぞれ16%、15%を占める一大製材産地である。

2 事業内容等

(1) 事業の目的

- ・組合員による原木の生産・製材の加工乾燥。
- ・資材の共同購入等による総合的協業化。
- ・木材の一貫加工によるコストダウン・労働者不足の解消。
- ・事業資金の共同責任化による借入金利のコストダウンとリスク負担の平均化。

(2) 事業の内容

- ・組合員の取り扱う建築用木材資材の共同加工（プレカット加工）
- ・建築用カラマツ材の開発・促進

(3) 施設の整備状況

・プレカット関連機械1式（加工機械・設計積算システム・集塵装置）H5年8月
CAD-CAM式 生産能力25棟／月

・木材乾燥施設2機 H5年9月 蒸気式14m³／1基

(4) 事業の実績

種 別	平成5年度		平成6年度	
	計画	実績	計画	実績
加工棟数		61	250	292
加工面積	8.915	28.750	42.089	
加工坪数	2.740	8.710	12.857	
加工材積		857	5.750	4.573
国産材比率		90		91

種 別	平成7年度		摘 要
	計画	実績	
加工棟数	250	343	
加工面積	28.750	49.725	平成5年度は試験操業のため計画なし。
加工坪数	8.710	15.157	
加工材積	5.750	5.651	
国産材比率		92	

(5) 事業の成果（事業体の評価）

平成7年度では加工棟数・加工面積は目標値を大きく上回り、実績としては申し分ない状態にある（対目標比は、棟数が137%、面積は173%）。また、国産材比率も92%と高い数値を示しており、国産材産地体制整備事業の趣旨に合致していると言える。（加工材のうち外材使用部分はそのほとんどが土台用、つまり防腐材である）十勝支庁管内に本格的なプレカット工場が他に存在しないためか、現状では組合員の発注全てを捌き切れていない状況で、注文過多がつづいている。対策として2交代制、一部3交代制も考えているが、労働力不足の問題もあり、まだ実現していない。経理状況としては今年度で単年度黒字にて転換、あと2・3年中には累積で黒字転換も可能な見通し。

(6) 今後の取り組み

1交代制としては、現在が生産能力の限度であるため、需要が減らない限り規模拡大か2交代制以上のシフトが必要となるが、とりあえずラインの拡充は黒字転換後の対策になる模様。

カラマツ建材は当初予定が変わり試験的な加工のみにとどまっているが、H7年に試験を兼ねてカラマツ材使用住宅を帯広市内に建築した。耐久性・品質変化等を見て使用に問題がなければ、本格的な生産・加工をはじめの予定である。